

## 日常点検 チェックリスト

実施日：

実施者：

点検項目	点検機器	点検内容	チェック	特記事項
船体	船体ラバー全体	傷などの損傷が無く、空気の漏れが無いこと		
		エアーバルブが閉まっていること		
		全空気量の空気圧が適正であること		
	ライフラインロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
		ロープを通す金具類に損傷が無いこと		
	バウロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	船体引き起こしロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	クルーマンズ・ハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと		
	ドライバーズ・ハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと		
	フロア材の固定	エアチューブをかみ込まず、正しく組まれていること		
フートストラップ	切れ等の損傷が無いこと 取り付け用のボルトが緩んでないこと			
ドレンプラグ	船体に取り付いていること			
船外機	エンジンオイル (4ストロークの場合)	オイルが適正量入っていること (船外機が直立の状態を確認すること)		
	エンジンオイルフィルター	フィルター取り付け部に緩みが無いこと		
	スパークプラグ	プラグの色は正常な薄褐色であること		
	取り付け位置	トランサムボードの中央に位置していること トランサムボードにひび割れ、亀裂等がないこと		
	ブラケット	ブラケットが傾かず正しく付いていること		
		クランプハンドルはきつく締めこむこと		
	タイミングベルト (4ストロークの場合)	張り具合が適切であること ベルトに磨耗、ひび割れ等がないこと		
	エンジンカバー	カバーは、きちんと閉まりロックされていること		
	チルト	チルトアップ、ダウンがスムーズにできること		
		チルトロックが機能すること		
		チルトピンは損傷が無く、取り付けられていること		
	スターターロープ	切れ等の損傷が無いこと		
	シフト	シフトが前後に動くこと ニュートラルにしておくこと		
	ランヤード	ランヤード自体に損傷が無いこと		
		ランヤードが、緊急停止スイッチに取り付いていること		
	ステアリングハンドル	アクセルがスムーズに回ること ハンドルの折り畳みができること		
		船外機脱落防止ワイヤーと燃料ホースが付いている状態で 左右一杯に動くこと ステアリングケーブルの被覆に亀裂等の損傷が無いこと		
	脱落防止ワイヤー	船体と船外機が結ばれていること		
		ワイヤーに損傷が無いこと		
	プロペラガード	取り付けネジの緩み等が無いこと		
全体に破損が無いこと				
プロペラ	プロペラ自体の破損が無いこと			
	取り付けナットの緩み防止用ロックピンが取り付けられていること			
トリムタブ (アノードを兼用)	外れなく取り付けられていること			
冷却水取り入れ口	給水口に異物が詰まっていないこと			
ギアオイル	交換時期を過ぎていないこと 乳化していないこと			

燃料	燃料タンク	燃料が十分に入っていること		
		燃料注ぎ口が閉まっていること		
		燃料タンクからの燃料漏れが無いこと		
		燃料タンクが船体に固定されていること		
	燃料フィルター	ゴミ、水分等が溜まっていないこと		
	燃料ホース	プライマリーポンプの向き(矢印)が正しいこと		
		プライマリポンプのひび割れ、燃料タンクとの接合部からの燃料漏れが無いこと		
		燃料タンク、船外機の両方に正しくジョイントされていること		
ホースからの燃料漏れが無いこと				
電気系統	バッテリー	バッテリーが固定されていること		
		ターミナルに緩み、錆がないこと		
		バッテリーの液面の高さ及び電圧が適正なこと		
備品	法定備品	係留ロープ、信号炎管、笛、浮環、赤バケツ、ライフジャケット(定員分)、工具、アンカー、消火器など		
	書類等	船舶検査証書、船舶検査手帳		
		船舶検査済票		
		小型船舶操縦士免許の所持		

## 使用前点検 チェックリスト

実施日：

実施者：

点検項目	点検機器	点検内容	チェック	特記事項
船体	船体ラバー全体	傷などの損傷が無く、空気の漏れが無いこと		
		エアバルブが閉まっていること		
		全空気量の空気圧が適正であること		
	ライフラインロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
		ロープを通す金具類に損傷が無いこと		
	パウロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	船体引き起こしロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	クルーマンズハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと		
	ドライバーズハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと		
	フロア材の固定	エアチューブをかみ込まず、正しく組まれていること		
フットストラップ	切れ等の損傷が無いこと 取り付け用のボルトが緩んでないこと			
ドレンプラグ	船体に取り付いていること			
船外機	エンジンオイル (4ストロークの場合)	オイルが適正量入っていること (船外機が直立の状態を確認すること)		
	エンジンオイルフィルター	フィルター取り付け部に緩みが無いこと		
	取り付け位置	トランサムボードの中央に位置していること トランサムボードにひび割れ、亀裂等がないこと		
	ブラケット	ブラケットが傾かず正しく付いていること クランプハンドルはきつく締めこむこと		
	エンジンカバー	カバーは、きちんと閉まりロックされていること		
	チルト	チルトアップ、ダウンがスムーズにできること		
		チルトロックが機能すること		
		チルトピンは損傷が無く、取り付けられていること		
	スターターロープ	切れ等の損傷が無いこと		
	シフト	シフトが前後に動くこと ニュートラルにしておくこと		
	ランヤード	ランヤード自体に損傷が無いこと		
		ランヤードが、緊急停止スイッチに取り付いていること		
	ステアリングハンドル	アクセルがスムーズに回ること ハンドルの折り畳みができること		
		船外機脱落防止ワイヤーと燃料ホースが付いている状態 で左右一杯に動くこと		
	脱落防止ワイヤー	船体と船外機が結ばれていること ワイヤーに損傷が無いこと		
プロペラガード	取り付けネジの緩み等が無いこと 全体に破損が無いこと			
プロペラ	プロペラ自体の破損が無いこと			
	取り付けナットの緩み防止用ロックピンが取り付けられていること			
トリムタブ (アノードを兼用)	外れなく取り付けられていること			
冷却水取り入れ口	給水口に異物が詰まっていないこと			
燃料	燃料タンク	燃料が十分に入っていること		
		燃料注ぎ口が閉まっていること		
		エアベントスクリーウが緩んでいないこと		
		燃料タンクからの燃料漏れが無いこと		
		燃料タンクが船体に固定されていること		
	燃料フィルター	ゴミ、水分等が溜まっていないこと		
	燃料ホース	プライマリーポンプの向き(矢印)が正しいこと		
プライマリポンプのひび割れ、燃料タンクとの接合部からの燃料漏れが無いこと				
燃料タンク、船外機の両方に正しくジョイントされていること ホースからの燃料漏れが無いこと				

備品	法定備品	係留ロープ、信号炎管、笛、浮環、赤バケツ、ライフジャケット(定員分)、工具、アンカー、消火器など		
	書類等	船舶検査証書、船舶検査手帳		
		船舶検査済票		
		小型船舶操縦士免許の所持		
その他	レスキューチューブ、オール、フィン、ナイフ等			
エンジン 始動後	スイッチ類	エンジン停止スイッチ、緊急エンジン停止スイッチが作動すること		
	インペラ	冷却水が通常通りの量及び勢いで排出されていること		

## 使用後点検 チェックリスト

実施日:

実施者:

点検項目	点検機器	点検内容	チェック	特記事項
船体	船体ラバー全体	傷などの損傷が無く、空気の漏れが無いこと		
		エアバルブが閉まっていること		
	ライフラインロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
		ロープを通す金具類に損傷が無いこと		
	パウロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	船体引き起こしロープ	ロープ自体に切れ等の損傷が無いこと		
	クルーマンズハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと		
ドライバースハンドル	切れ、破損等の損傷が無いこと			
	ドレンプラグ	船体に取り付いていること		
船外機	取り付け位置	トランサムボードの中央に位置していること トランサムボードにひび割れ、亀裂等がないこと		
	ブラケット	ブラケットが傾かず正しく付いていること		
	チルト	チルトピンは損傷が無く、取り付けられていること		
	スターターロープ	切れ等の損傷が無いこと		
	ランヤード	ランヤード自体に損傷が無いこと		
		ランヤードが、緊急停止スイッチに取り付いていること		
	脱落防止ワイヤー	船体と船外機が結ばれていること		
		ワイヤーに損傷が無いこと		
	プロペラガード	取り付けネジの緩み等が無いこと		
全体に破損が無いこと				
プロペラ	プロペラ自体の破損が無いこと			
	取り付けナットの緩み防止用ロックピンが取り付けられていること			
冷却水取り入れ口	給水口に異物が詰まっていないこと			
燃料	燃料タンク	燃料が十分に入っていること		
		燃料注ぎ口が閉まっていること		
		エアベントスクリューが緩んでいること		
		燃料タンクからの燃料漏れが無いこと		
		燃料タンクが船体に固定されていること		
	燃料ホース	プライマリポンプの向き(矢印)が正しいこと		
		プライマリポンプのひび割れ、燃料タンクとの接合部からの燃料漏れが無いこと		
燃料タンク、船外機の両方に正しくジョイントされていること ホースからの燃料漏れが無いこと				

## 動力ボート(月例) 整備項目チェックリスト

実施日:

実施者:

整備項目	整備検機器	整備内容	頻度	チェック	特記事項
整備準備	シフト	ニュートラルにする			
	燃料タンク・ホース	船体から取り外す			
真水洗浄	船体	全体に真水を掛けて洗浄し、埃、石を洗い流す			
		船体をばらす場合は、全パーツを個別に洗浄すること			
	船外機	船外機全体(カバー、ローワー、プロペラ等)を水道水で洗浄する			
		カバーを外し、キャブレター、電装品以外のエンジン本体に水道水を軽く当てて洗浄する			
		濡れたエンジンやエンジンルーム内を乾いたウエスで拭く エンジン底部の水、ビルジを拭き取る			
	排気経路	①注入口の埋栓ネジを取り外し、水道水アダプタを取り付ける。 もしくは、吸水口に専用アダプタを取り付ける。 もしくは、ローア全体を水道水が入った大きなバケツに入れる。			
		②船外機内に水道水を流す			
		③換気良好な場所で、シフトレバーを中立にしてエンジンを始動する			
		④検水口から冷却水が出ていることを確認し、3～5分間運転する			
		⑤エンジン運転中に船外機側の燃料ホースを取り外す (キャブレター内の燃料を使い切る)			
		⑥エンジン停止後、水道を止める			
		⑦アダプタからホースを抜き、埋栓ネジを取り付ける			
燃料タンク ホース	水道水で砂、塩水等を洗い流し、ウエスで拭きあげる				
	燃料ホースの先端のジョイント部にゴミ付着防止のカバーを被せる				
	燃料タンクのエアベントスクリュウを閉める				
防錆・ 潤滑	エンジン	金属類に防錆油を吹きかける 余分な油分はウエスで拭き取ること 塗布済みのグリスには拭きかけないこと			
	ケーブル類	スロットル、チョーク、ステアリングなどのケーブル類全て防錆油を塗布する。 余分な油分はウエスで拭き取ること			
	グリスの塗布	各グリスポイントへの塗布	6か月毎		次回実施月( 月)
その他	点火プラグ	プラグ先端の濡れ、汚れの除去	適時		
	燃料フィルター	ゴミの有無を確認し、フィルターを掃除する	3か月毎		次回実施月( 月)
	オイル交換	毎年、シーズン前に交換 オイルフィルターも同時に交換	1年		次回実施月( 月)
	ギアオイル交換	毎年、シーズン前に交換	1年		次回実施月( 月)